



東京教区災害対応チーム

災害情報・台風15号/17号

他教区
016

～ 被災状況と献金やボランティアの受け入れについて ～

【日本聖公会管区事務所からの連絡：各教区の状況（2019/9/24）要約】

■横浜教区：人的被害の報告はない。

- ・神奈川県・静岡県：庭木の倒木、鐘楼の蓋の取っ手や窓枠破損し雨水が吹き込むなどあったが大事に至らず軽微な損傷。
- ・横浜市中区にある祈りの家：隣地の大木倒壊により敷地内電柱損壊、停電続いている。
- ・鎌倉聖ミカエル教会では、屋根の十字架が強風で飛び、また倒木により教会車の扉の一部が破損。
- ・千葉県ではまだ停電している地域がある。
- ・千葉県内施設には軽微なものはあるようだが大きな損傷はない。
- ・茂原昇天教会の牧師館では、屋根の一部に損傷、雨漏り発生。
- ・南三原聖ルカ教会では建物の屋根瓦が飛んだり、トタン屋根がめくれ雨漏り発生。

■北関東教区：茨城県各教会で倒木1件、軽微倒木2件、雨漏り1件。

■東北教区；福島県南部の小名浜聖テモテ教会で床下浸水。（以前より台風や豪雨の際に頻発傾向にあり、当日も在住司祭が掻き出し現在復旧）

■九州教区：台風17号の九州直撃により、23日予定され九州教区125周年記念礼拝は中止となった。

横浜教区としての献金やボランティアの受け入れは行わず、今回の台風15号による支援活動にあたっては社会福祉協議会を推奨しています。

「全国社協公式サイト」 <https://www.saigaive.com/shiba-tokyo>

【参考】

*消防庁調べなど

*台風15号：

関東に上陸した台風としては過去最強クラス。9月9日（月）未明に東京湾を北上し午前5時に千葉市付近に上陸し、同8時には茨城県沖に抜けた。記録的な暴風と豪雨のあった地域では、死亡および重軽傷多数（146名）。倒木や鉄塔倒壊、家屋被害（14,000件超）が出ており、ことに、大規模停電や断水のライフラインが断たれ、折りからの猛暑の中、厳しい生活に直面されています。被害は、静岡県・神奈川県、伊豆諸島、千葉県、茨城県、埼玉県、栃木県、福島県と広い範囲。

なお鉄道など公共交通機関における計画運休後の再開運用の課題や停電復旧の遅れが浮き彫りになった。東京電力管轄の停電は一時93万戸、障害発生から16日経った今も停電箇所があるとも。

*台風17号：

9月21日（土）午前7時頃沖縄本島に最接近し、22日に九州北部地方、23日午前には中国地方に接近、その後、長野県、新潟県、秋田県、北海道でも強風や局地的な豪雨が降った。この大型台風による死亡および重軽傷者は64名、浸水を含む住宅被害は560件。

一般によく云われることですが、災害では目には見え難い形で心的な傷を負ったり、不安を感じる方々が多く居られます。このような数値などに表れないケースも思い、どうぞご加祷ください。